

3. 今後の展望

3 今後の展望

- 今回の実証実験で一定の有用性は示すことはできたものの、導入・運用に向けた課題は残る
→実装可能な技術は早期に市町へ展開、社会実装に向けた検討を促す
- 地域課題解決のためには、県市町が主体となり事業化し、継続的に取り組むことが必要
- 事業の成功には、「知」の創造と活用を図るための産官学連携体制の構築が必要
- 栃木県内の産業を発展させるためにも、IoT等プロジェクト推進事業へ地域ベンダの更なる参画を促すことにより、地域ベンダの育成に貢献できると考える

【地域課題解決に向けたプロジェクト・事業展開】

